

第1級公認審判員講習会(2021-2022 シーズン)

シクロクロス検定結果と講評について

令和5年4月 日
日本自転車競技連盟 審判委員会
委員長 松倉信裕

標記講習会のうち、シクロクロスの検定結果についてご報告いたします。

受講者は筆記検定にて合格済みの4名について、執務状況および口頭試問による実技試験を、2022年12月16-18日に大会主催者、栃木県自転車競技連盟の協力を得て、栃木県宇都宮市「宇都宮シクロクロス UCI 公認」にて実施いたしましたので、検定結果についてご報告いたします。

(合格者一覧)

大泉裕之(神奈川)、丸山元靖(長野)、森岡智之(山口)、宮城力(東京)

以上4名(順不同)

《講評》

秋から冬のシーズンに亘り競技大会が開催される、自然と人工物の融合した魅力的なコースと手軽さで近年益々人気のある種目ですが、スポーツとしての発展や安全性の担保による持続には、関係者の方々の協力と共に優秀なコミッセールが重要な役割を果たします。

今回合格された方は、様々な立場で競技に携わり知識や経験を深めてこれ、選手や関係者の方々の信頼も厚いことから、更なる飛躍に繋がるきっかけになることを期待しています。

ようやくコロナ禍から解放され、再び集う喜びが戻ってくる気配を感じます。

各加盟団体の皆さまには、厳しい環境の中でも競技大会や第3級公認審判員講習会などの開催を行っていただき、改めて御礼申し上げます。

今後、国内外の交流が活発化していくと共に、国内に於ける国際大会や、国際コミッセールとして活動する人材の重要性が高まっていくものと思います。

これからの自転車競技の発展及び様々な人材育成の為に、各加盟団体に於かれましては益々のご協力を、審判員各位は更なる研鑽を重ね、より上級資格へ挑戦されることを願っております。

以上